

佐賀県唐津市浜玉町平原の土砂災害を発生させた降雨の特徴について

— 未経験降雨指数の算定結果 —

2023/7/10 15:00 第一報

2023/7/10 20:30 第二報 (文言の微修正)

京都大学農学研究科 山地保全学教室 小杉賢一郎

使用した時間雨量データ

唐津土木事務所 今坂¹⁾ (2023 7/8 10:00 ~ 7/10 10:00)

武雄河川事務所 星領²⁾ (1987 1/1 0:00 ~ 2023 7/8 10:00) 欠測部は最寄りのデータで補完

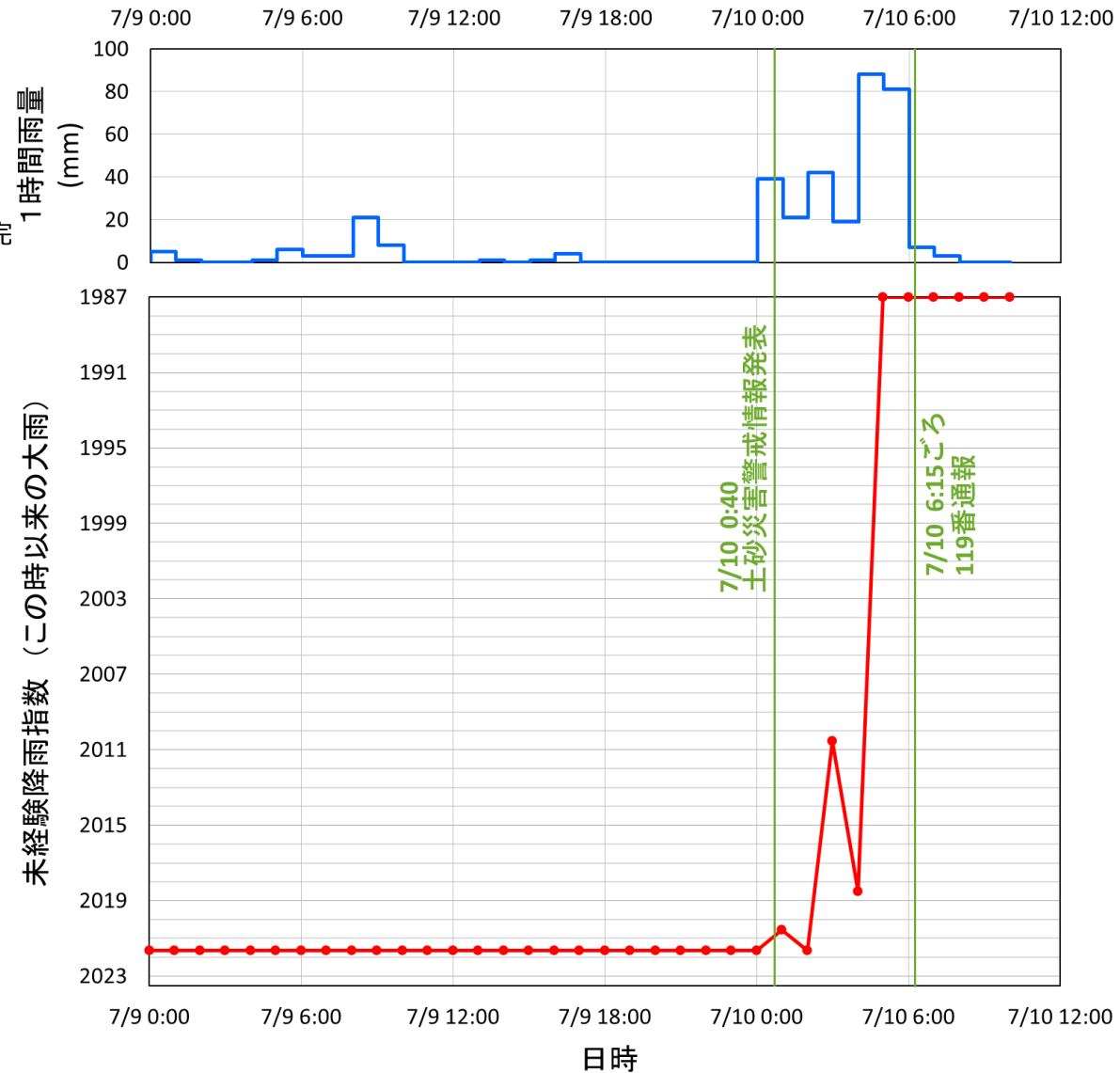
未経験降雨指数³⁾の算定結果⁴⁾

- ◆ 土砂災害警戒情報発表⁵⁾直後の7/10 1:00には、2020年7月豪雨以来の約3年ぶりの大雨。
- ◆ 7/10 5:00には、過去の雨量データが存在する期間⁶⁾で経験したことのない大雨となり、以降はこの状況が継続。7/10 6:15ごろに「山が崩れた」と119番通報⁷⁾。

注釈

- 1) 出典：川の防災情報 <https://www.river.go.jp/portal/?region=80&contents=multi>
- 2) 出典：水文水質データベース <http://www1.river.go.jp/>
- 3) 各時刻の雨が「いつ以来の規模になっているか」を表す (詳細は、小杉, 砂防学会誌, 75(1), 3-14, 2022 を参照のこと)
- 4) 半減期0.1~1500hの51種類の実効雨量を組み合わせ、合計1326通りのスネーク曲線図で解析
- 5) 出典：土砂災害警戒情報データベース <http://agora.ex.nii.ac.jp/cps/weather/mudslides/>
- 6) 1987年1月1日 (星領の雨量観測記録の開始日) から2023年7月6日までの期間
- 7) 出典：佐賀新聞 <https://www.saga-s.co.jp/articles/-/1068797>

※ ウェブサイトのアクセス日は、いずれも2023年7月10日



本稿は未経験降雨指数の試算結果を速報的にまとめたものであり、記載した内容については今後修正する可能性があります。